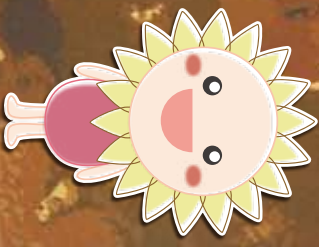


太子町議会だより

No
160

和のまち



平成22年度決算を認定する

P2~3

平成22年度施策を問う

P4~5

新庁舎建設事業がスタート

P6~7

10人の一般質問

P10~14

の黒字 町の 財政健全化法の 4指標 財政運営は

平成22年度決算

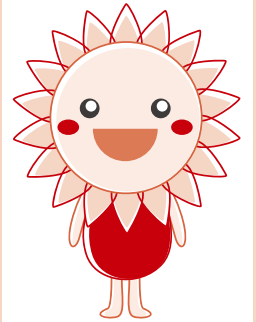


決算特別委員会	
委員長	井村 淳子
副委員長	中島 貞次
委員	橋本 恭子
	吉田 日出夫
	平田 孝義
	森田 眞一
	首藤 佳隆

平成22年度一般会計決算を審査する決算特別委員会を設置し、9月14日から20日まで7名の委員で審査を行った。

9月定例会が8月26日から9月27日まで33日間の会期で開催されました。報告2件、同意1件、議案8件（補正予算7件、条例1件）が提案され、原案のとおり可決されました。さらに、議員発議による条例改正2件を上程し全員賛成により可決しました。また太子町選挙管理委員、同補充員（各4名）の選挙が行われ新体制の選挙管理委員会が発足しました。

平成22年度各種会計の決算審査は特別委員会および常任委員会に付託して審議し、一般会計をはじめ9会計すべてを認定しました。



太子町議会だより
マスコットキャラクター

たいしん

これから約半年、案内役を務める「たいしん」です。よろしくね。

町花であるひまわりをモチーフに、ひまわりのように明るく輝かしいイメージで、太子町がのびのびと邁進していくように「たいしん」と名付けてもらったよ。

審査意見（抜粋）

【歳入について】

○町税の3億9016万円に及ぶ収入未済額は大きい。収税管理室を中心に収納率の向上を図ること。そのために

も、口座振替を推進し、コンビニ収納の実施等、納付方法を検討すること。

【歳出について】

○新規大型事業を行うときには、借入金の将来返済の負担を考慮して借り入れを行い、健全財政を堅持すること。

①総務費
インターネットで見る

太子町ホームページを見やすく、検索しやすい内容にしていこう。

②民生費

障がい者に優しいまちづくりを進めるためにも、道路や公共施設のバリアフリー化を進めること。

③衛生費

女性特有のガン検診率は、無料クーポンの配布により向上した。それ以外の各種検診についても検診率の向上を図り、健康の維持と疾病の早期発見・早期治療に努めること。

④農林水産業費

農家の高齢化や後継者不足により地域の農業を担う者が減少しており、担い手等の育成、確保を図ること。

⑤商工費

「太子あすかふるさとまつり」を全町民参加の身近な企画内容に再

構築すること。

⑥土木費

都市公園を整備し、誰でも利用しやすい公園にすること。また子どもたちの安全のため、公園遊具を定期的に検査し、必要であれば修繕をするなど適切な処理を怠らないようにすること。

⑦消防費

安全・安心のまちづくりのため、災害緊急時の対応として最新メディア等による情報公開と集約方法を早期に取り入れること。

⑧教育費

学校メール配信事業により、学校からの連絡が迅速に行われているが、加入率が各小中学校間において差が認められる。より一層の加入率の向上を目指し、情報提供を行うこと。（意見全文は会議録をご覧ください。）

「収納率向上になお一層の努力」を求める

実質収支 総額 2億2923.9万円

平成22年度各種会計決算額

会計名		収入	支出	差引額
一 般 会 計		98億5535.7万円	95億4036.8万円	3億1498.9万円
特別会計	国民健康保険	32億5856.7万円	30億8847.3万円	1億7009.4万円
	介護保険	15億 786.2万円	15億 731.2万円	55.0万円
	老人保健※1	486.5万円	486.5万円	0円
	後期高齢者医療	2億4615.4万円	2億4091.4万円	524.0万円
	墓園事業	1943.9万円	1569.9万円	374.0万円
	下水道事業	15億7028.9万円	15億2011.7万円	5017.2万円
	前処理場事業	1億 879.9万円	1億 402.1万円	477.8万円
	小 計	67億1597.5万円	64億8140.1万円	2億3457.4万円
合 計		165億7133.3万円	160億2177.0万円	5億4956.2万円
水道事業会計(収益的)※2		4億6831.0万円	4億5450.4万円	1380.6万円
(資本的)※3		1087.0万円	3億8964.9万円	※4▲3億7877.9万円

☆財政健全化法の指標

①実質公債費比率・・・14.0%
(過去3年平均の借入金元利返済比率)

②将来負担比率・・・95.8%
(借入金や将来支払う可能性のある負担等)

現在、町の財政運営は健全と判断されますが、
①25%②350%になると黄信号が点灯します。
※町税等の一般財源に対する割合。

※1 平成19年度で老人保健制度は廃止した後、平成22年度決算で精算終了

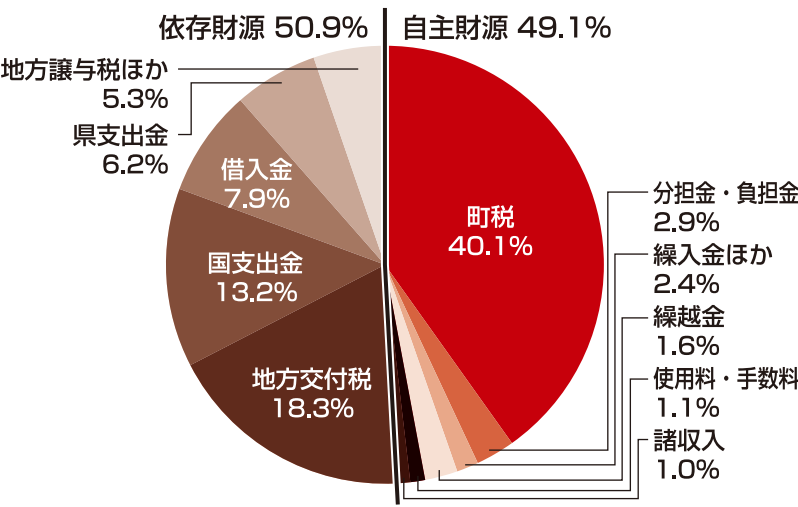
※2 収益的…経営に伴い、発生が予想される収入と費用

※3 資本的…将来に備えて行う建設改良等の支出とその財源となる収入

※4 不足分は積立金(留保資金)などでカバー(補てん)

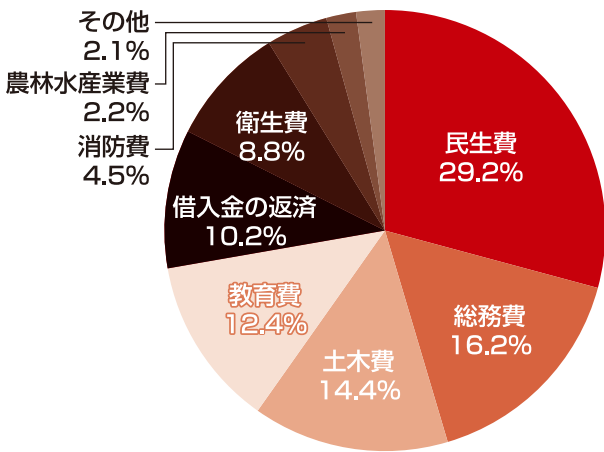
平成22年度一般会計決算額内訳 収入の部

自主財源	町税	39億5679.2万円	40.1%
	分担金・負担金	2億8401.4万円	2.9%
	繰入金ほか	2億3778.9万円	2.4%
	繰越金	1億5881.8万円	1.6%
	使用料・手数料	1億 783.4万円	1.1%
	諸収入	9902.6万円	1.0%
依存財源	地方交付税	17億9991.8万円	18.3%
	国支出金	13億 175.1万円	13.2%
	借入金	7億7861.6万円	7.9%
	県支出金	6億1054.9万円	6.2%
	地方譲与税ほか	5億2025.0万円	5.3%
合計		98億5535.7万円	100%



支出の部

民生費	27億8475.6万円	29.2%
総務費	15億4673.0万円	16.2%
土木費	13億7269.1万円	14.4%
教育費	11億8909.5万円	12.4%
借入金の返済	9億7006.6万円	10.2%
衛生費	8億3571.3万円	8.8%
消防費	4億3187.9万円	4.5%
農林水産業費	2億 917.5万円	2.2%
その他	2億 26.3万円	2.1%
合計	95億4036.8万円	100%



決算収支は黒字になりました

残ったお金	3億1498.9万円
23年度の特定の事業へ	8575.0万円
23年度に繰り越し	2億2923.9万円



森田 眞一議員

問 第5次総合計画の取り組みは

答 実施計画に基づき執行する

森田 政策項目ごとに主な取り組みと成果を問う。

町長 「健康で、いきいきと暮らせるまちづくり」で、総合健診の受診率の向上を図るため、国保加入者の特定健診の無料化や保健師による個別受診勧奨の結果、昨年より3.5%向上した。また、乳がん、子宮がん検診については節目年齢の方に無料クーポンを送付した。

「子ども達の笑顔がふれるまちづくり」で、子育て学習センター（のびすく）は親子で、400余名が利用している。行財政改革に取り組む中、職員の充実は難しいので、今後も地域の方々の力をお借りしてやっていきたい。また、育児不安や悩みを抱える保護者には積極的に相談に応じ、必要があれば家庭訪問等を行う。

児童虐待については、大きなものは無かったがいつ起きるかわからない。

防止、早期発見に努めるので、近隣の皆さんにも協力をお願いしたい。

「安心して暮らせるまちづくり」で、町を襲う危機への備えについて、雨水対策は、下から上流まで通しで考えねばならないので雨水幹線という考え方で取り組んでいきたい。

森田 認知症相談、公園整備、防災訓練等の施策も含め、できるだけ早い対応を求める。



保健福祉会館



橋本 恭子議員

問 効果的な予算編成を

答 収納管理の強化と節減の徹底

橋本 平成22年度決算で、一般会計の歳入は、自主財源の40.15%が町税であり、前年度に比較して3.8%減少。また、不納欠損は2521万4千円、584万4千円（30.2%）増加。滞納額（収入未済額）は、3億9016万7千円である。不景気の影響もあるが、税の公平性のため、更に収納管理の強化取り組みと対策が必要と思うが。

町長 滞納繰越分は、収納管理室が高額滞納者の徴収を強化した。分納誓約で納付を求めている方が254人。徴収員が戸別訪問している方が450人。不動産を競売されて破産のケースが32件。悪質滞納者には、差押え、また強制捜索等の滞納処分を明確にし、税に公平性を求める中、対応していく。

橋本 一般会計の歳出は、前年度と比較して支出済

額が1847万8千円（0.2%）減少し、翌年度繰越額は3億5462万4千円と大幅増加して、不納額が3億8057万4千円である。

町長 ①不納額は、予算執行で節減を徹底し、次年度の財源に1円でも多く出すよう日常から徹底指導した事が増加要因である。
②国、県の方針、医療給付費と社会保障関係費用の動向等、十分注意を払いながら、今後予算処置する。





平田 孝義議員

問 地域経済活性化を

答 商工会と連携し、協議する

平田 第5次総合計画では、9つの行政施策を軸に各種事業を実施している。「産業の活気あふれるまちづくり」に関して、それに伴う地域経済の活性化に対する22年度の成果と今後の施策を問う。

①地域に根差した中小業者・商店を育成するため、に町が行った施策・成果は。税の健全化を図り、経済効果に結びつける考え方は。

②「あすかふるさとまつり」の経済効果は、また予算に対する成果は。

③町職員、また町が補助している団体、商工会等の研修について、内容とその効果を問う。

町長 ①商業等の育成について難しい面はあるが、商工会を通じて協議していく必要がある。太子町と商工会が連携して対応し、中小企業利子補給制度や政府のセーフティーネットを利用しながら支援・保護に努める。



平成22年あすかふるさとまつり

②町外からの来客者が約3500人と推計、太子の魅力のPR、経済効果を仮定すると、320万円超の算出である。

③実務担当者・職階により知識・技能の向上はもちろん、住民への説明を意識した責任能力の向上が図れるよう研修を計画し、実行している。

平田 実践型の職員、団体役員を育て、地域の資源・文化・歴史を大切に、持続可能な地域社会の形成を求める。



服部 千秋議員

問 新庁舎建設の財源は

答 検討を進めている

服部 庁舎の建物にかけることのできるお金はいくらが上限と考えるか。基金^{*}は全部使う訳にいかない。本当に使える額の上限をいくらと考えるか。

町長 基本計画の策定により事業費が算定できる。全体事業費の上限額、基金で対応できる上限の額は、将来負担また住民ニーズ等を考慮し、庁舎の機能、より有効な財源手当てはないか検討を進めているところであり、言える段階ではない。

服部 私たちが家を建てる場合、どれぐらい借金できるだろうとか、これくらいのものを建てようとか考える。

そういうことも何も言わずに、最後の最後になってから情報を議会側に出されると。私たち議員は住民によって選ばれている。何も決まっていな

いと言うが、議員にもつ



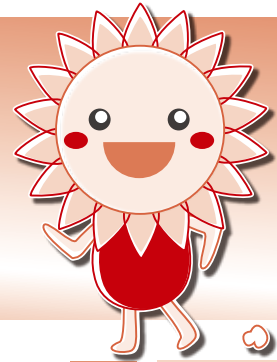
と情報を公開すべきだ。幾らぐらいまで起債（借金）できるかは当然考えられる。

以前、私が総務委員会に聞いたときも答えがなかった。明確な答えがないまま今日に至っている。

このように多くのお金を使う問題は議会にまず情報を言ってから、外に言うべきだ。議会に対して情報がない。

^{*}基金とは地方公共団体が特定の目的のために、積み立てた資金を言います。

検討委員会が発足 がスタート



平成23年度一般会計予算は、3億2112・9万円を追加し95億7889・1万円としました。
補正の主なものは、新庁舎建設に伴う事業費や要援護者支援システム構築費などで、原案どおり可決しました。

一般会計補正予算

【内容】

問 新庁舎建設に対する今後の取り組みを尋ねる。

答 今年度まちづくり審議会を2回、新庁舎建設検討委員会を3回開催する予定で、同委員会として石川県野々市町を視察する計画である。

また、新庁舎建設基本計画策定を業務委託する。



問 災害対策費として無線機を購入する予定だが、その内容は。

答 現在の防災無線はアナログ式で、これをデジタル系の防災無線に替える。基地局1基、携帯局4機の予定である。



防災無線 (アナログ式)

問 中学校の防球フェンス補修工事は、6月議会の補正予算で太子西中分を組んだが、今回の分について説明を求める。

答 太子東中の中で、野球のボールが民家に飛び込んで一部破損するなど、被害が出ている。そこで、ネットの高さを4メートル高くして10メー

トルにする工事である。



太子東中学校

問 児童館運営費で、自動車購入の目的および購入方法は。

答 国の市町村子育て創生事業の一環として訪問カウンセリングを行うために専用公用車を整備した。

購入業者の決定は、陸運局認証工場および兵庫県自動車整備振興会、掛龍自動車組合加入町内業者の3点を満たす業者で、町内には現在8社あり、見積競争入札により決定する。

9月定例会での平成23年度補正予算

項	目	現在の予算額	今回補正した額	補正後の予算額	主な内容
一般会計		92億5776.2万円	3億2112.9万円	95億7889.1万円	前年度決算確定による繰越金 新庁舎建設事業費など
特別会計	国民健康保険	31億4880.9万円	1億 871.3万円	32億5752.2万円	職員異動による人件費の補正 前年度決算確定による精算等の補正
	介護保険	16億5302.9万円	1748.8万円	16億7051.7万円	
	後期高齢者医療	2億5310.8万円	10.9万円	2億5321.7万円	
	下水道事業	15億9227.5万円	281.5万円	15億9509.0万円	
	前処理場事業	9879.6万円	▲119.7万円	9759.9万円	
	水道事業	12億8180.6万円	116.1万円	12億8296.7万円	

補正予算 新庁舎建設事業

問 今回児童館およびあすかホールにおむつ交換と授乳コーナーを設置するが、その内容は。

答 児童館1階にパーテーションおよび壁面取り付けベビーシートを設置する。

あすかホールは、授乳室というより、それぞれの部屋でパネルを組み立てて、人の視線を気にせずに授乳やおむつ交換ができるようにする。



町民体育館の天井照明

問 町民体育館の天井照明をセラミックメタル電球に替えるが、そのメリットは。

答 天井照明88個を替えるが、電力使用量は現在の半分、寿命は約1・5倍になる。またこれまでは利用者から照度不足の指摘があったが、改善できると考えている。



太子町役場用 AED

問 当初予算では、37名の退団予定であったが、4名増加の41名になったからである。

答 いまあるAEDは、1歳以上の幼児には不具合があった。小児用パッドが付属していることと、また小児用の電流が流れるようにするための装置がついている。研修は、総務課の職員研修で龍野消防署と一緒に研修を受けている。

平成23年9月定例会議決結果

同意	教育委員の任命	全員賛成	認定	平成22年度介護保険特別会計決算	全員賛成
可決	一般会計補正予算	賛成多数	認定	平成22年度老人保健特別会計決算	全員賛成
可決	国民健康保険特別会計補正予算	全員賛成	認定	平成22年度後期高齢者特別会計決算	全員賛成
可決	介護保険特別会計補正予算	全員賛成	認定	平成22年度墓園事業特別会計決算	全員賛成
可決	後期高齢者特別会計補正予算	全員賛成	認定	平成22年度下水道事業特別会計決算	賛成多数
可決	下水道事業特別会計補正予算	全員賛成	認定	平成22年度前処理場事業特別会計決算	全員賛成
可決	前処理場事業特別会計補正予算	全員賛成	認定	平成22年度水道事業会計決算	賛成多数
可決	水道事業会計補正予算	全員賛成	可決	太子町議会議員政治倫理条例の改正	全員賛成
可決	太子町税条例の改正	全員賛成	可決	太子町議会議員報酬の改正	全員賛成
認定	平成22年度一般会計決算	賛成多数	可決	災害に強いまちづくりと地域循環型経済対策を求める意見書	全員賛成
認定	平成22年度国民健康保険特別会計決算	全員賛成			

条例改正がありました(3件)

1. 太子町税条例の改正

「現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るための地方税法等の一部を改正する法律」が平成23年6月30日に公布、施行されたので、条例を改正する。

(内容)

太子町議会では、常任委員会委員長及び議会運営委員会委員長に対して、議員報酬月額に委員長手当を支払っていたが、手当制度を廃止して、委員長報酬を創設することになった。

3. 議会議員政治倫理条例の改正

(内容)

地方自治法の一部が改正され、条例の中で地方自治法から引用していた条項がかわり、条例改正するものである。条例の内容については以前と変わらない。

- ① 寄付金税制の拡充・税額控除対象寄付金の追加と申告書の提出規定
- ② 罰則規定の見直しにより不申告等があったときの過料が3万円以下から10万円以下に引き上げる。
- ③ 肉用牛売却による事業所得に係る町民税課税特例
- ④ 上場株式等の配当、譲渡益等の課税特例期間の延長等々である。

2. 議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の改正

議会議員の報酬の改正内容

(改正前)		委員長の報酬	
		議員報酬	271,000 円
		委員長手当	10,000 円
		合計	281,000 円 (税込)
(改正後)		委員長報酬	278,000 円 (税込)
		(平成 23 年 10 月より)	

災害に強いまちづくりと地域循環型経済対策を求める意見書

1. 国民の生命と財産を守るため、国と自治体の役割と責任で、災害に強いまちづくりを行うこと。また、そのための予算を拡充すること。
2. 早急に『公契約法』を制定すること。
3. 公共工事・委託業務などの発注に際し、適正な賃金・労働条件を確保するための制度をつくること。
4. 国民の『住』の安全・安心を守るため、『住宅リフォーム助成制度』など、循環型の地域経済につながる制度をつくること。

上記の意見書を内閣総理大臣並びに関係省庁国務大臣に提出しました。

教育委員会委員の任命同意

井貫 正義 (町与)
(任期は本年10月1日から4年間)

選挙管理委員及び同補充員の選挙

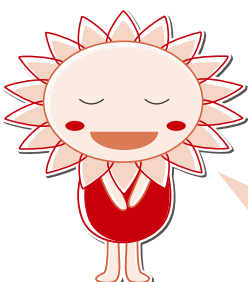
選挙は指名推選で行われ、次の8名の方が当選しました。(任期は本年9月29日から4年間)
選挙管理委員

森川 正義 (龍田)
田中 勝明 (斑鳩)
下村 正文 (石海)
飯田 慶子 (太田)
補充員及び順位※

第1 瀧口 迪範 (石海)
第2 奥村 秀子 (龍田)
第3 奥田 重信 (斑鳩)
第4 山本 令子 (太田)

※選挙管理委員に欠員が生じた場合、補充員より順次補充する。

よろしくをお願いします



委員会レポート

総務常任委員会

総務委員会では庁舎問題
を調査している。

毎月の委員会や宍粟市

役所視察を経て、中間報
告をまとめ、9月の本会
議で報告し、町当局への

提言とした。全てを掲載
できないため、中間報告
の一部を掲載する。

・庁舎はコンパクトで事
務所機能、防災本部機
能を果たすものとする
こと。

・オープンフロアー、ユ
ニバーサルデザインを
取り入れ、他にも利用
できる建て方とするこ
と。

・メンテナンスを考えた
コスト安の庁舎とし、
できる限り低く建てる
こと。

・町民が憩え交流できる、
緑ある庁舎とすること。

・低いカウンターにし、
住民が座って職員と話
せるようにすること。

・性急に進めず、幅広い
世代の意見を聞き、住
民への告知をしっかり
はかりながら進めるこ
と（何年建設か先走り
しない。）位置を不安
視する意見もあり町民
の意見を聞く努力を怠
らないこと。

・行政の説明会には今後
は議員も参加できるよ
うに進めること。

（本委員会では他にも、
所管の条例改正や陳情な
ども審査している。）

福祉文教常任委員会

7月11日

「太子町障害者計画及

び障害福祉計画第1期」
における施策の展開の調
査、及び各委員が障害者
や関係者から日常の問題
点について話を伺い、バ
リアフリー化の調査を行
うことを決定した。

8月10日

○バリアフリー化につい
て、各委員が車椅子に
乗り①役場正面玄関、
西側出入口、②町道沖



車椅子体験

入歳出決算審
査を行い、い
ずれも全員賛
成で認定した。
○課題は①学校
給食の地産地
消、②学校給
食の食物アレ
ルギー対応、
③学校給食費
のあり方につ
いて調査・研
究することに
決定した。

経済建設常任委員会

7月12日・8月11日

①立岡山北配水池整備事

業の工事進捗状況は、8
月末現在、約24%。11月
初旬よりJRの仮設タン
クから一般家庭へ給水し、
北配水池撤去等の工事に
入る予定であると当局か
ら報告を受けた。

②危険箇所対策

○山田の太子バイパス
IC北側の造成地の今後。

○県と相談しながら、
現在調整している。

○太子苑の石積斜面の
落石で石積に変化がある。

○間接的な支援を継続
していきたい。

○マックスバリュ太子
東店南側道路の側溝に段
差がある。

○路肩にカラーコーン
4本を設置した。



マックスバリュ太子東店南側道路の側溝

③雨水・排水計画

○鶴飼付近、立岡から
庁舎建設予定地付近まで
毎年水没する。

○太子町の排水路は、
用水路を兼用しているた
め水路が狭い。

9月8日

○委員会付託案件は、下
水道事業特別会計、前
処理場事業特別会計、
水道事業会計の決算審
査を行い、いずれも全
員賛成で認定した。
○課題は①立岡山北配水
池、②危険箇所対策、
③雨水・排水計画につ
いて引き続き調査・研
究することに決定した。



藤澤 元之介議員

問 「新しい公共」への支援策は

答 公益性を考え検討する

藤澤 活性化対策の「新しい公共」を推進するNPO・コミュニティビジネス等に対する支援策を尋ねる。

①事業化に係る経費の一部を補助する支援策は。②具体的にどのような対応するのか。③事業主に対して融資、経営相談、企業支援を行い、中小企業等の振興を図っては。

総務部長 ①各種事業補助金交付規則の要綱に基づき、その事業の公益性等を考え、支援制度創設を検討する。

②参画と協働の推進は必要で、ホームページを活用した情報提供や自治会への活動支援等に取り組む。

経済建設部長 ③現在、町と商工会が連携し、「中小企業利子補給制度」「中小企業振興融資制度」を活用している。また政府のセーフティネット保証第5号を活用し、支援、保護に努めている。起業相談は、財団法人ひょうご産業活性化センターを紹介し、セミナー制度等の案内をしている。

藤澤 ③の支援制度等の具体的な実績を尋ねる。

経済建設部長 中小企業利子補給制度は平成22年度の実績74件、104万7305円の利子補給。融資制度は22年度の実績なし。セーフティネット保証第5号の認定は、現在228件である。

藤澤 参画、協働体制の推進を図り、より効果的な事業手法を見出すよう求める。

その他の質問 ③教育政策・社会教育の推進

経営型



吉田 日出夫議員

問 斑鳩寺の修復は

答 県に早期着工を要望する

吉田 ①教育委員会での斑鳩寺の文化財管理の内容は。②県指定建造物の聖徳殿後殿（庫裏）の修復時期、予算確保計画を伺う。

教育次長 ①文化財の修理、修復は原則、所有者または管理者が行う。県指定文化財の場合、県は経費の3分の1、町も3分の1の補助金を交付。指定文化財でない場合は所有者の負担である。

②県指定文化財建造物の修理は毎年度寺社と神社それぞれ一箇所ずつ助成を行っていたが、県の新行政改革により予算が削られ、単年度に1事業しか助成できない。来年度は神社の修理にかかるため斑鳩寺はその後に先送りになる。実施の時期については県の財政状況の動向などから不透明である。県の文化財室に補助事業として採択されるよう早期着工を引き続き要望する。

町長 予算等の関係で延びたのが現状である。町のほうも後押しを考えている。

東中通学路、擁壁ブロックのクラック修復は

吉田 太子東中の通行道路、山側の壁のブロックのひび割れへの対応策は。

教育次長 現在、マーキングを施し学校職員に観察及び調査を指示したが、拡大及び移動等は確認されなかった。豪雨時も、ひび割れからの雨水の流出はなかった。

その他の質問 ③鳥獣駆除に関して



斑鳩寺



首藤 佳隆議員

問 住民との参画・協働のホームページを

答 専用コーナーを早急に作成する

首藤 「自治と連携による力強いまちづくり」のため、住民と行政が情報ニーズを共有する、知恵を出し合う、力を出し合うという参画と協働に基づくホームページがまだにできていない。また自治体基本条例や住民参加条例等制定に関する方針は。

総務部長 参画と協働のページは事業が一目で確認できるように近いうちに立ち上げる。また、町民と行政、そして議会との関係が醸成されたときが、自治体基本条例等の検討の始まりだと思っている。

首藤 住民参加という点で以前からパブリックコメント等も実施されてきたが、現在ICT*の著しい進展と普及により、これまで以上に情報公開と収集が求められている。そこで、防災面からも行政ICT化の推進が必要と考えるが取り組みは。

総務部長 職員による高度情報化計画の策定を予

定している。震災時のサーバー管理、また住民票や印鑑証明等の自動交付機をどうするか、ICT化にむけて今年度中に策定する。

首藤 ICTの「C」は住民と意見を交わすコミュニケーションの意味である。スピード感があり、オープンな住民参加につながる情報提供を求める。

※ICTとは、「情報」を適切に「伝達」するための「技術」という、本来の役割がより強調された表現。



その他の質問

○地上デジタル化の結果について

○沖代の信号機設置について

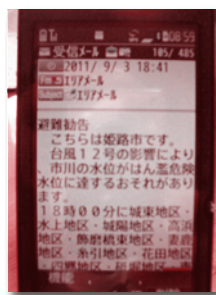
○消火器のリサイクルについて

問 町民への災害時緊急速報は

答 「エリアメール」を活用する



井村 淳子議員



エリアメール

井村 自然災害が多い昨今、町民が正しい情報をリアルタイムに得ることで自身の生命を守れる。

①町民への災害時の伝達方法は。

②緊急時の伝達手段として、エリアメールの活用を。

総務部長 ①自治会設置の放送設備を活用、広報車で巡回、各種放送メディアにより伝達する。

②NTTドコモの緊急速報「エリアメール」を活用する。

買い物弱者対策

井村 太子町の高齢化率は約19%、県下12町の中では最も低い。しかし、車がないと買い物に行くにはしんどい地域は点在し、生活全般にわたって

深刻な問題を抱えた高齢者が増えている。

①買い物弱者の現状を、町として認識し、支援対策を考えているか。

②以前のコミュニティバスに代わるものは。

生活福祉部長 ①買い物弱者と思われる方々からの声はない。現在65歳以上を対象に、無作為に抽出した2000名に、「日常生活圏域ニーズ調査」を行っている。その結果により、支援を研究、検討していく。

副町長 ②将来的には福祉タクシー等の導入を考えていかなければならないのではないかと考える。

その他の質問

○障害のある子どもための学習支援・デザイン教科書*の導入を

○子供議会の開催について

※デザイン教科書とは、文章やイラストをパソコンに映し出して使う教科書。



福井 輝昭議員

問 高齢者の買い物対策は

答 いかに進めて行くか課題である

総務部長 最新知識や技

福井 より高い見識が、最良の行政サービスを提供し得ると考える。町職員の研修について伺う。

町職員の研修について

副町長 太子町はコンパクトタウンであり、10分、20分で買い物に行ける状況にはある。ただ高齢者、障がい者にとっては、そうではない。行政として福祉政策の中で、いかにこういう施策をしていくかが今後の課題である。

福井 町内では自転車や車に乗れなくなった高齢者にとって、近隣に買い物場所がない不便な状況がある。その一方商業施設等がある地域に集中している。都市計画に基づき街づくりが行われ現在に至っているが、その結果、この問題が生じているのであれば、何らかの対策が必要では。



福井 小学校の英語教育の導入等グローバル化に対応した行政が要請される中、海外派遣研修の導入の検討を求める。

総務部長 行っていない。

福井 海外派遣についてはどうか。

能習得のため、県自治研修所等に、昨年は延べ100名を派遣。また内部研修として基礎的な知識や技能の習得のため、新人職員研修、入庁若年者の財政研修等を行っている。

問 合併の可能性は！太子町の今後を問う

答 単独行政の将来展望はある



堀 卓史議員

町長 太子町は、コンパクトな行政体、しっかりと行政運営をやっている。太子町は小さい町に見合った行政を執行し、安心して安全な暮らしができるように精いっぱい努力する。

堀 町民の多くが注目しているが、今後どのように町を運営していくことにしているのか。庁舎建設の話もある中、町民全体が間違いのない道を歩く必要がある。再度太子町の今後を問う。

堀 新聞報道では姫路市は政令指定都市を目指している。既にたつの市、相生市等に合併の打診をしたとある。太子町にも打診をするにあつたが。

公園について
堀 子供が学校から帰ったら遊びに行ける、小さくても近くの公園が必要と考えるが。

市民発電所について



総合公園

堀 太陽光等の自然エネルギーを利用し、行政と住民が協力して市民発電所をつくり、いい環境で作ったいい電気を町民が選んで使うとすばらしいと思うが。

生活福祉部長 可能性については否定はしない、今後の推移を見ていくことが必要と考える。



平田 孝義議員

問 広い意見を集めての庁舎建設を

答 難しいが合意形成を図る

平田 議会や住民の声を広く聞き、和のまち太子にふさわしい庁舎建設に挑むべきだが。

総務部長 現在、職員による新庁舎建設庁内検討委員会を設置。今後、学識経験者、町議会や各種団体の代表者、公募委員等15人で構成する委員会を立ち上げ、約一年をかけて審議する。また、パブリックコメント、まちづくり審議会を予定している。

平田 一部団体への説明だけでなく、議会や地域ごとの住民懇談会、町民全体の説明会等、手順を踏み時間をかけて提案するべきだが。

町長 すべてに説明は難しい、自治会長だけでなく議会でも説明し、まちづくり懇談会でも説明をした。

平田 一部の方だけの説

明では困る。本当の和のまちにふさわしいルールある庁舎造りを求める。



現太子町役場

難病問題について

平田 難病による介護認定を受けている人を把握しているか。予防、施策などの啓蒙活動は。

生活福祉部長 認定者は190人。龍野健康福祉事務所では、医療相談、訪問指導・診療などを実施。本町ではホームヘルプサービス事業等に取り組んでいる。啓蒙活動は広報等で対応している。

その他の質問

○保育について

○非核宣言の町として

問 外出用の緊急カード作成を

答 基本サンプルを作成し、啓発していく



中島 貞次議員

中島 高齢者・障がい者が外出した時、万一の事故や災害、急病等で意識を失った時に、駆けつけた救急隊員や医師が、適切な処置を素早く行うための緊急時連絡カードを作成してはどうか。

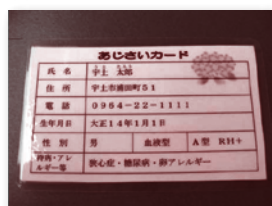
生活福祉部長 外出時、持病があり、健康に不安のある方や、万一に備えてという意識のある方は、詳細な情報を記入した手帳等を携行されている。一方、携行されていない方もいる。

個人情報保護の観点から、町がすべての高齢者等の情報を把握できていないので、健康に不安のある方はご自身で何らかの対応をしていただくよう啓発していきたい。

中島 熊本県宇土市では、名刺サイズ、透明のビニールで熱加工したカードで、表面に名前、住所、生年月日、性別、血液型、持病、アレルギー等、裏

面に緊急連絡先、かかりつけ医療機関が記載されている。これは、特に心配な方、不安な方が自己申請により発行するもので、費用はかからない。今後検討されたいが。

生活福祉部長 サンプルを町で作成して、高齢者等健康教室ほか、機会あるごとに基本サンプルを紹介して、啓発に努めていきたい。



あじさいカード
(熊本県宇土市)

その他の質問

○PRE戦略^{*}について

○地域連携保全活動の取り組みについて

○学校園等の芝生化について

^{*}PRE戦略とは、町の所有する学校や公民館等の公的不動産(PRE)を戦略的な観点から所有や利用形態を合理化していくこと。



服部 千秋議員

問 東日本大震災に町職員を派遣して得た教訓は

答 迅速な災害対応を図りたい

- 服部** 東日本大震災を見て本町の防災対策、災害対策をどう考えるか。
- ①町職員の派遣状況は。
- ②職員の派遣で得た教訓を本町はどう生かす考えなのか。
- ③災害時、要援護者避難支援プランの策定状況は。
- ④自主防災組織の現状と促進策は。
- 総務部長** ①給水支援4名×2回、市町業務支援2名×5回、保健業務支援1名×1回。
- たつの市消防本部太子消防署から14名派遣。
- ②迅速な対応の拠点となる庁舎やシステムのバックアップの強化を図りたい。大規模な災害時には行政機能のマヒが予想され、地域や個人の力による災害対応が必要となる。
- ③3月に策定した。現在特に支援が必要な、一人では避難できない方から順に支援プラン作成に着手している。
- ④防災訓練や防災講演会

その他の質問
○町の予算について



東日本大震災（宮城県）

を通じて活性化を促す。

服部 災害時要援護者避難支援プランは、一人一人事情が違う。また一般の方と同じところに避難しない場合がある。これがまだできていないと聞いている。これには地元の自治会長や民生委員の協力も必要だが、一刻も早く対策を進めるべきだ。

問 今後の財政運営のビジョンは

答 財務指標を悪化させないように運営する



中数 清志議員

- 中数** 税收の落込み等で厳しい財政状況となり、単独自治体の町としては地方分権が進む中、ベストな判断と大きな責任が求められる。住民と協働するためリーダーシップをとる行政が戦略と戦術を明確にすべきだが。
- 総務部長** 本町に限らず地方の財源不足は景気の低迷等により多大な影響が出ている。複雑多様化する住民ニーズに応え行政サービスの向上を図るため無駄を省き、財源確保施策を取捨選択することを重点化していく必要がある。
- また、国、県の動向を十分に見極め歳入的の確保、将来の財政負担、投資効果を検討しながら財政健全化判断比率、財務指標を悪化させないように計画的な行政運営に努める。



第5次太子町総合計画

- 中数** 競技場や文化会館の命名権等を使って施設に係る税負担を減らす等、新しい自主財源をつくる方法等考えているのか。
- 総務部長** 命名権もあるのは承知しているがそういう突拍子もないことをやるうとは思っていない。オーソドックスで、堅実に太子町行政を進めているので、これからもそうやっていきたいと思っている。行政改革でいろいろ改革できる面があれば改革していきたいので意見を伺いたい。
- その他の質問
○舗道の改修工事予定は
○雇用対策の現状は



2年5組
毛戸 杏夏



後藤 梨花



2年1組
梶川 春香

表紙（太子高校）

ご応募ありがとうございました

（順不同）



太田小学校（6年3組）
中村 優里

応募者
龍田小学校（10名）

5年 眞殿 井川 朝田 山垣 杉本 岡崎
未来 佑唯 瑛継 義士 紗耶 ひまり 咲歩

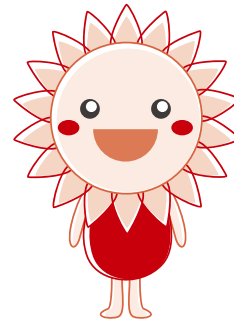


龍田小学校（3年） 杉本 ひまり



優秀賞
石海小学校（4年3組） 三木 紗也花

「和のまち」



たいしん

最優秀賞

安藤 絵梨香（福岡県）

キャラクター

優秀賞

西井 和義（太子町）

応募者
堀川 春香（姫路市）
中本 竹識（福岡県）
中本 長流（広島県）
堀江 豊

6年 中井 歩乃佳
朝田 舞
玉田 彩夏
斑鳩小学校（12名）
3年1組 平野 莉代
3年3組 三渡 有紡
角野 愛心
西井 晴香
黒田 菜月
4年2組 森澤 いづみ
5年1組 北林 優奈
5年2組 源 千鶴
6年1組 唐牛 里紗
6年2組 中安 未奈美
田中 碧
高井 亮佑
石海小学校（27名）
3年1組 田中 伶弥
3年3組 前田 悠真
4年1組 永峰 壮馬
4年2組 安達 聖加
森脇 千歳
郡山 陽名
中数 創士
4年2組 田川 文深
4年3組 三木 紗也花
4年4組 竹内 和奏
辻内 泰生
福田 健人

5年1組 三木 咲良
5年2組 林坂 真依
首藤 正樹
兵藤 潤大
中数 みう
古川 瑞樹
5年3組 小山 颯太
北野 賢人
磯野 航汰
塚原 祐磨
6年1組 小山 菜摘
6年2組 山本 奈々
福田 晃基
6年3組 小川 楓加
大谷 遥
太田小学校（52名）
3年1組 大道 智博
岡田 章貴
3年4組 和田 健跳
寺谷 光汰
森澤 亜美
前田 直樹
3年5組 西口 果歩
寺谷 壮汰
3年6組 宮地 祐衣
4年2組 前田 ゆみ
4年4組 中井 大智
4年6組 改発 美友
下村 直也
中田 早紀
福井 直之

4年7組 辻 奈南
5年2組 大木 圭一朗
光岡 美月
森澤 菜海
古川 大貴
5年3組 足羽 咲耶
高田 悠衣
塚本 真衣
平沼 梨垂
丸尾 珠希
5年4組 蒲原 幸奈
北浦 知輝
山本 葉月
5年5組 井上 莉沙
千古 裕也
山本 麻衣
6年1組 川元 芽
郡山 彩奈
仲谷 梨奈
井上 莉沙
6年2組 真田 あかり
高井 美里
高水 奏
野中 柚希
三浦 梨乃
和田 光生
6年3組 龜本 佳奈
中村 優里
成定 慧
山本 菜々子
6年4組 上村 みき
川添 裕菜
下江 遥花
6年5組 角木 真里
藤井 珠莉

ひと、まち、ともに 60年

小山 均さん(沖代)
昭和26年8月25日生まれ

バレーボールと共に歩んだ人生。子供とバレーを愛する名将！

『デコボコの田んぼでのソフトボールや空き地を見つけては陣地取り（遊び方は分かるが名前が…）をしていた』と当時の遊びを振り返るのは25年以上も石海少女バレーボールで監督をされている小山さん。『昔の子供はスパルタで指導していたが、今は怒ると動けなくなる2回怒ったら5回褒めてちょうど良い、世の中が変われば指導方法も変わらない』と子供たちや、世の中の変化を感じつつも『バレーを好きになって大人になっても続けて欲しい、一生懸命に頑張ったことを自信に何でも諦めずにやれる子に成長して欲しい』という熱い気持ちで日々指導を続けられている小山さんでした。



(約60年前の石海地区)

線路から南も道が整備され、たつの市へのアクセスなど良くなってきている。

住宅が建ち人口が増加しているのはすごいことだと思ふ。

👉太子町にあっぱれ！

👉太子町で気になること
試合や仕事で他の地域に行くときに感じるのですが、みんなが気軽に集まって楽しめ、憩える施設が少ない。道の駅的な施設があれば…。

👉太子町、今と昔
田んぼや畑ばかりだったのに調整区域の地区でも秋に稲穂を見るシーンが減ったのはさみしいですね。変わっていないところを探すのが難しいくらい変わっているのかも。

小山さんに
聞きました！

議会傍聴に お越しください！



11月臨時会予定 11月28日
12月定例会予定

12月 2日 (第1日／提案説明)
12月 5日 (第2日／一般質問)
12月 6日 (予備日／一般質問)
12月 7日 (第3日／議案質疑・討論・採決)
12月16日 (第4日／討論・採決)

◆お知らせ
議会だよりでは伝えられない会議の様子を太子町ホームページまたは図書館や公民館でご覧いただけます。

編集後記

◆ばんしゅうに吹く風が苅田を駆け抜けて行きます
前回、小学生の皆様から応募いただいた「和のまち」の題字、どの作品でも表紙を飾るに相応しい書でした。そして、太子高生の絵も本当にどれもすばらしく、校長先生、教頭先生も初めて絵を見た瞬間、手を振り上げて喜んでおられたのが印象的でした。
新メンバーによる新たな試みがふんだんに盛り込まれた前号でしたが、大変好評を頂いております。ほっと胸をなでおろすと同時に、これ以上のものを、と再び気合が入りました。
お褒めの言葉も元気を頂けますが、ぴりりと辛い意見もより良い「和のまち」作りのためにお待ちしております。
(堀 記)

あなたの「声」を お聴かせください

議会だよりを読んでのご感想などお聴かせください。
皆さんからの投稿(俳句・川柳・写真など)もお待ちしています。

お問い合わせは 太子町議会事務局 まで

◆編集
広報広聴常任委員会
委員長 中島 貞次
副委員長 堀 卓史
委員 中井 政喜
井村 淳子
首藤 佳隆
藤澤 元之介
中藪 清志



◆年賀状等の禁止
議員は、選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、暑中見舞状などの時候のあいさつ状を出すことは禁止されています。